

PRESS RELEASE

2005年9月9日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、RFID(無線ICタグ)ソリューションの提供を開始

－ RFID をインターネット上で利用するための「IIJ EPC Network サービス」を提供 －

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一)は、ネットワークを介したRFID(Radio Frequency IDentification、無線ICタグを利用した情報交換技術の総称)の国際標準規格である EPCglobal Network™に準拠した「IIJ EPC Network サービス」の提供を、2005年10月より開始いたします。

今回提供する RFID ソリューション、「IIJ EPC Network サービス」は、EPC(Electronic Product Code™、RFID タグに格納される固有の番号体系)・属性情報・履歴情報などの RFID タグに紐づく情報をインターネット上で汎用的に登録・参照・変更することを可能にするシステムです。これを利用することにより、例えば、サプライチェーンにおいて発生する様々な RFID 読み取りイベントのトラッキング、識別、定量化等が可能となります。IIJ EPC Network サービスは、以下の2つの機能から構成されています。

- ・ EPCIS サーバ
EPC 情報の登録・参照・変更を行うためのデータベースである EPCIS(EPC Information Service) サーバの運用・管理サービス。EPCIS により RFID タグのイベント情報(例えば、製品の在庫、入庫、販売情報等のトレース情報)の管理を行います。
- ・ EPC ネームサーバ
EPC と、その EPC 情報を格納する EPCIS を関連づける ONS(Object Name Service) サーバの運用・管理サービス。EPC ONS により、インターネットのようなオープンなネットワークにおいても、「情報(EPCIS)」と「モノ(RFID タグ)」を完全一致させる「情・物一致」を実現します。合わせて、EPC に関する情報の検索を行う、EPCIS Discovery サーバも提供いたします。

IIJ EPC Network サービスでは、これらの機能へのアクセスを SOAP(*1)を用いた Web サービスとして提供します。また、システム開発者向けに、EPCglobal Network™に準拠した基本ライブラリ「IIJ EPC Network ソフトウェア」を提供する予定です。これにより、主に複数国・地域・企業にまたがる RFID システムの構築を検討する製造業・流通業等のお客様や、これらの業界向けに RFID システム構築を行う SI 事業者は、国際標準規格のシステムをコンポーネントとして手軽にご利用いただくことができます。

IIJ EPC Network サービスは、日本ヒューレット・パカード株式会社を含む4社(*2)の RFID 共同検証施設である HP RFID Noisy ラボ・ジャパンにおいてもご利用いただける予定です。

(*1) SOAP: ネットワーク上のアプリケーション間(オブジェクト間)の情報を交換し合うためのプロトコルの仕様

(*2) 他に、トーヨーカネツソリューションズ株式会社、アイデックコントロールズ株式会社、株式会社スリーク

■IIJ EPC Network サービス ラインアップ

品目	サービス内容	提供開始予定
プレミアム	お客様のご要望に応じて個別に構築・運用するサービス	2005年10月
スタンダード	IIJ データセンター内に構築したサーバによるサービス	2006年1月
トライアル	限定的に試行導入するお客様向けサービス	2006年1月

RFIDは業務等の高度化・効率化を図ることができる次世代のデータキャリアとして注目されており、米国を初めとする各国で様々な分野における利活用の検証・取り組みが進んでいます。日本においても、2005年4月の電波法の改正に伴うRFID用途でのUHF帯周波数の開放を踏まえて、RFIDの利活用の具体的な検討が本格化しています。RFIDを用いた情報交換を実現するためにはネットワークの利用は不可欠であり、2010年には60億個以上利用されると予測されているRFIDタグのうち、47億個以上がインターネット等のネットワークに依存した形で利用されることが見込まれています^(*3)。このため、RFIDの利用には、高品質なネットワークやオープンな環境で利用することのできる仕組みの構築が求められます。また、拡張性や柔軟性の高いグローバルなRFIDシステムの実現のためには、利用する技術が国際的に標準化された規格に基づいていることも重要です。

(*3) 出典：富士経済 USA 「日本におけるネットワーク RFID の現状と展望 2002-2010 年」

IIJ は、インターネット事業の第一人者として培ってきた高度なインターネット技術・ネットワーク運用力を活かし、RFID の分野においても積極的に事業を推進しています。ネットワークを介した RFID の国際標準化団体である EPCglobal™に加盟し、2003 年には大手アパレルメーカーが行った電子タグ実証実験に、2004 年には経済産業省による平成 16 年度電子タグ実証実験に参画するなど各種の技術開発・実証実験等を通じて EPCglobal Network™に準拠したシステムの構築技術・経験を蓄積してきました。今後も、最新技術の開発とサービス化を進めてまいります。

<EPCglobal™について>

EPCglobal™は、400 社以上の企業が参加する世界最大の RFID に関する国際標準化団体です。国際標準規格である「EPCglobal Network™」を管理・運営し、特に流通分野（製造・物流・販売）において同規格に準拠した RFID 関連技術の普及活動を行っています。（<http://www.epcglobalinc.org/>）

※文中に掲載の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 川上、富永

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>